

第7回 稲城市住所整理地区市民検討会（矢野口・東長沼・百村京王線以南地区）

実施日：令和5年2月1日（水） 午後7時00分～午後9時00分

会場：稲城消防署 3階 講堂

参加数：地区市民検討委員 16名（欠席4名）
事務局2名（平林係長、小出主事）

委：アンケートの選択肢として、新町名の範囲をJR武蔵野南線まで広げて示すことの正当な理由を以前から聞いているが、回答をいただいている。

南山東部土地区画整理事業を契機として住所整理を実施するのであれば、区画整理区域に一番近い道路で区切るべき。その方がわかりやすい。

このため、選択肢の④～⑥は削除すべき。

市：これまでも度々議論し、その都度、回答がなされている。

住所整理は、住所を分かりやすくすることを目的としており、配送物の誤配・遅配を防ぎ、緊急車両の到着を確実なものとするなどのメリットが見込まれる。

稲城市住所整理基本方針や稲城市住所整理実施要領において、町の境は道路や河川、線路等の恒久的な施設に設定することが定められている。

これに基づき、第3回の検討会等において各委員から様々な意見が出され、精査された結果、選択肢の案はこの6パターンとなった。

委：どのような説明なら納得できるか。

委：検討会において結論が出れば、それに従う。

委：町の境を線路に設定することについては、「住居表示に関する法律」においても記載されている。

委：「わかりやすい」ということも理由となる。

新町名の範囲を区画整理区域に留めるべき、というのは地域の総意か、個人の意見か。

委：個人の意見である。

委：第3回の検討会において、提案した委員から理由等の説明を受けている。反対意見もなく、その後も検討を進めてきた。そのため、現在の案で検討を進めていく。

委：＜矢野口・東長沼・百村京王線以南地区の住所整理について＞の説明欄において、区画整理事業の「事業終了時」と「換地処分」という表現が混在しているため、「事業終了時（換地処分）」の表現に統一した方がわかりやすい。

委：選択肢①における地番の振り直しは、4桁の地番が振られることがイメージできるよう、具体的に示した方がよい。

委：選択肢③の「住宅地内の道路」については、入り組んだ道路になることが分かるよう、補足した方がよい。

委：地域コミュニティの補足説明は、「変わるものではありません」と表現した方がよい。

委：文字を大きく表示した方がよい。

委：「区域の変更」については、新町名の区域と混同のないよう、「地域コミュニティの区域の変更」等に改めた方がよいのではないかと。

委：地域コミュニティの「区域の変更」は、住所整理とは異なる内容のため、記載は必要ない。

委：〈矢野口・東長沼・百村京王線以南地区の住所整理について〉の説明欄は、区画整理区域内に関する記載が主となっている。区画整理区域外についても、いずれは住所整理の対象となり、住所変更手続き等が必要となることや、今回は区画整理事業に合わせて周辺の住所整理も検討することなどを記載すべき。

委：「アンケート結果により、区画整理事業区域外の周辺地域も住所整理を実施します」等を記載してはどうか。

市：周辺地域にもアンケートを実施することから、「周辺地域も含めてアンケートを実施します」という主旨の記載で良いか。

委：その内容でよい。

委：アンケート実施までの流れは、「アンケート案確定」、「事前周知」、「説明会開催（オープンハウス）」、「アンケート実施」でよい。

委：オープンハウスの開催期間は、どの程度を想定しているか。

市：参考情報となるが、坂浜地区住所整理に関するオープンハウスは、休日と平日夜間の各1日、坂浜コミュニティ防災センターにおいて開催した。来場者は両日合わせて40名程度。市ホームページに掲載した動画の閲覧数から、動画で内容を確認した方も多いと考えている。